

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格： 助教

氏名： 梅下 新介

研究課題		スポーツ競技トップ選手及び指導者の英語力及び競技との関係性、スポーツ競技の国際大会における英語活用の現状及び実証研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>・研究目的 本研究では、スポーツ競技において、国際会議に参加及びインターナショナルトーナメントに参加し、使用されている英語のデータ及び内容を収集し、競技と英語についての関係性を明らかにする。また、英語の活用の現状を把握することにより、競技における英語の必要性と関連性を明らかにし、英語活用の現状を把握することを目的とする。</p> <p>・研究概要 ①ASBCアジアボクシング協会及びAIBA国際ボクシング協会が主催する国際大会及びAIBA国際ボクシング協会の国際会議に参加し、書面及びデータ、映像での英語によるデータを収集し分析し、関係性を明らかにする。 ②国際大会・国際会議に選出された日本代表監督・コーチ及び総会出席者の英語力をインタビュー形式で調査し、英語力の把握を試み、現状を分析する。</p>
	研究成果	<p>・AIBA国際ボクシング協会主催のロシア国際トーナメント大会及びASBCアジアボクシング協会主催のアジア大会、そしてAIBA国際ボクシング協会総会に参加し、総会での審議事項、報告事項の書面及び画像を入手した。また、国際大会における全体ミーティング・アスリートチェック・抽選・テクニカルミーティング・試合で使用された英語による書面及びデータ、映像を入手し、分析することにより、一般社団法人日本ボクシング連盟に総会参加、競技参加及び大会に必要な情報を提供することができた。</p>
研究業績	<p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p>	なし
	<p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p>	<p>ポスター発表 Masaki Takayose1, Yusuke Sato2, Masashi Fukami2, Hideaki Sato3, Takako Hiraki4, Koshizawa Ryo4, Shinsuke Umeshita5, Shuhei Shiroma6, 1Col. of Industrial Technol., 2Col. of Commerce, 3Col. of Law, 4Col. of Econ., 5Col. of Sports Sci., 6Col. of Humanities & Sci., Nihon University, Japan Visual strategies of elite athletes during attacks Society for Neuroscience 48th Annual Meeting 2018/11/06 アメリカ(サンディエゴ)</p>
	<p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等</p>	<p>活動報告(国際大会・アジア大会・国際ボクシング協会総会) 平成30年5月13日(日)～5月22日(火) ・ロシア国際トーナメント コーチ ロシア・ハバロフスク市 平成30年8月24日(金)～9月1日(土) 派遣期間:平成30年8月21日(火)～9月3日(月) ・第18回アジア大会 コーチ インドネシア・ジャカルタ市 平成30年11月2日(金)～11月3日(土)日本代表 派遣期間:平成30年10月31日(水)～11月5日(月) ・2018AIBA国際ボクシング協会 総会 日本代表出席者 講演会 オリンピック・パラリンピックに向けたボクシング競技解説講座 (東京都墨田区すみだ生涯学習センター) ・平成30年10月27日(土) 1回目 ボクシングのルールや歴史 ・平成30年11月11日(日) 2回目 ボクシング体験</p>